

4 「花の王国あいち」パワーアッププロジェクト

～日本一の花き産地にふさわしい取組を生産から消費まで一体となって展開し、あいちの花を県内外に広めます～

マーケットインの視点に立った新品種や新技術の開発・普及を推進するとともに、花いっぱい県民運動（P35参照）の展開や花と緑のイベントの開催、輸出の促進などにより県内外の需要を拡大し、日本一の花き生産を誇る「花の王国あいち」のパワーアップに取り組みます。

背景

- 本県は、昭和37年以降連続して花き産出額が全国第1位を誇る「花の王国あいち」です。
- 花の消費は、若年層ほど少なく、減少傾向にあります。
- 県内の花の消費は、全国でも中位※注にとどまっています。
- 卸売市場等がセントレアを拠点として花きの輸出を始めており、本県からも鉢物類が香港などにテスト的に輸出されています。

※注：総務省家計調査

主な取組

【生産性及び品質向上の促進】

- ・商品性の高い新品種の開発・導入及び生産性を高める施設栽培技術の高度化を推進します。
- ・日持ち性の向上のため、コールドチェーン※システムの推進など生産・流通体制を整備します。

【花いっぱい県民運動の展開】

- ・「花の王国あいち」のシンボルマークを活用して県産花きをPRします。
- ・フラワーバレンタインやパートナーズデーなど新たな花贈り文化の普及を支援します。
- ・子どもの頃から花に親しむ花育※を推進します。
- ・セントレアや名古屋駅などをあいちの花で装飾し、観光客等のおもてなしをします。

【花と緑のイベントの開催】

- ・県民参加型のイベントとして「あいち花フェスタ」などを開催します。

【輸出の促進】

- ・花き生産者や卸売市場と連携し、海外見本市や商談会などへの出展を支援します。

イメージ図



フラワーバレンタイン



本県が開発した主な品種

5 あいちの畜産強化プロジェクト

～地域ぐるみで高収益型畜産を実現します～

時代のニーズを取り入れて開発した優良種畜やバイオ技術の利用と地域の関係者の連携により、人、家畜、畜舎、飼料などを確保し、地域ぐるみで高収益型畜産を実現する生産体制を県内全域に構築し、未来につながる地域一体型畜産を推進します。

背景

- TPP協定*の発効などにより、畜産を取り巻く環境は、今後、厳しさを増すことが予想されます。
- 本県では、ブランド化や生産性の向上を推進するため、名古屋コーチンや系統豚の開発、バイオ技術の普及により、畜産農家に優良種畜などを供給しています。
- 畜産農家や関係機関、行政が持つ資源や技術などを結集した地域ぐるみの畜産の収益性向上が求められています。

主な取組

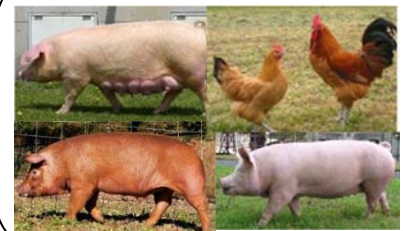
【優良種畜等の開発及び供給体制の整備】

- ・ 優良な種畜*や牛受精卵を畜産農家が効果的に導入・利用できるよう、種畜の開発や施設整備を含めた供給体制の整備を推進します。

【高収益型畜産の実現に向けた支援】

- ・ 畜産農家と関係業界が結集して、各々が持つ強みを生かして役割を分担し、生産から流通まで一体となった地域の畜産クラスター*を構築します。
- ・ こうした体制のもとで、高収益型畜産の実現に向けて構成員が持つ資源や知識、技術を活用し、生産施設や機械を整備することで、コスト削減や高付加価値化に取り組みます。
- ・ これらの取組から得られた成果、知見などを広く県内の畜産農家と関係業界に啓発・普及します。

イメージ図



優良種畜の開発と供給



優良受精卵の生産と供給

6 あいちの森林資源を生かす林業プロジェクト

～「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業を推進します～

名古屋市をはじめとする大消費地を抱える本県の特性を生かして木材利用を促進するとともに、充実した森林資源を活用して「伐る・使う→植える→育てる」を行うあいちの循環型林業を推進します。

背景

- 本県林業は、これまで戦後に植栽された森林の間伐※を主体に進めてきましたが、現在、森林資源は充実してきており、本格的な利用期を迎えています。
- 新たな製材工場や木質バイオマス※発電所の建設が計画されていることや、製材能力の強化を進めている既存の製材工場があることから、今後木材需要の増加が見込まれています。

主な取組

【木材生産量の増大】

- ・新たな木材生産システムによる生産性の向上を図ります。
- ・主伐や植栽、獣害対策を一貫して行う施策を推進します。
- ・森林施策の集約化と路網整備を推進します。

【生産を担う人材の確保・育成】

- ・新規就業者の確保と高度な知識、技能を有する林業技術者の育成を推進します。
- ・木材生産を担う林業事業者の経営基盤強化を図ります。

【効率的な流通・加工体制の強化】

- ・品質や性能の明確な製材品を安定して供給できる木材流通加工体制の強化を図ります。

【県産木材の利用促進】

- ・住宅関連イベント等におけるPRを実施します。
- ・住宅や公共施設などにおける利用促進を図ります。

イメージ図



新たな機械を活用した木材生産



公共施設での木材利用
(がんセンター愛知病院世弥森和ケアセンター)